

新規就農者を激励

上益城地方ニューファーマーの集い

上益城管内の新規就農者を激励する「上益城地方ニューファーマーの集い」が7月12日、阿蘇熊本空港ホテルエミナースで開催されました。

上益城管内の新規就農者21人のうち益城町では5人。農業振興協議会担い手部会長の住永町長は、「農家が減少していく中で就農者を誇りに思う。作物をよく研究して頑張るって欲しい」と激励しました。

「経験が大切な財産」と話すのは先輩農家の永野隆文さん（堂園）。「困ったことがあれば何でも相談してほしい」と激励の言葉を贈りました。

また、就農を祝い、農業に役立てて欲しいと、記念品のくわの贈呈が行われ、代表して坂上幸成さん（上砥川）が受け取りました。

平成25年度の上益城管内の新規就農者21人のうち益城町では5人。農業振興協議会担い手部会長の住永町長は、「農家が減少していく中で就農者を誇りに思う。作物をよく研究して頑張るって欲しい」と激励しました。



住永町長から記念品のくわを受け取る坂上さん

地域で犯罪・非行防止

立ち直りを支える地域のチカラ

町保護司会主催の第63回「社会を明るくする運動」の啓発パレード出発式が7月18日、役場玄関前で行われました。

町保護司会の池田正三会長は「犯罪、非行防止の啓発活動が全国的に行われている。あわせて地域のチカラがとて

も大事になってくる。私にはそんな力がないと話す人もいるがそんなことはない。犯罪

が多いという現状だが、本当の意味で町が明るくなるようこの活動が、少しでも力になれば」と想いを述べ、古閑森副町長が「犯罪や非行を町全体の問題と考え、みなさんの更生保護活動を支援したい」と激励しました。



啓発パレード出発の前に役場前に集合した会員のみなさん



ドライバーに啓発チラシなどを手渡しする交通指導員

願い事は「交通安全」

七夕交通安全街頭キャンペーン

御船地区交通安全協会（西口俊一会長）が主催した、「おりひめ・ひこぼしセーフティ七夕キャンペーン」が7月3日から8日までの間行われました。

例年夏場にかけて多発する、御船署管内の交通事故を未然に防ぐ目的で行われ、今年で9回目を数えます。

7月3日、出発式が行われた第1保育所（谷川淳子園長）

では、年長クラスの子どもたち20人が参加。田端一翔君と吉住七海ちゃんが代表して交通安全宣言を行いました。

式終了後、町総合体育館前の国道443号線で同協会の役員など計30人が、『飲酒運転撲滅』などののぼりを掲げ、チラシやグッズをドライバーに配布し、交通安全の啓発運動を行いました。